

昭和47年7月災害から40年を迎えて

平成24年6月17日開催

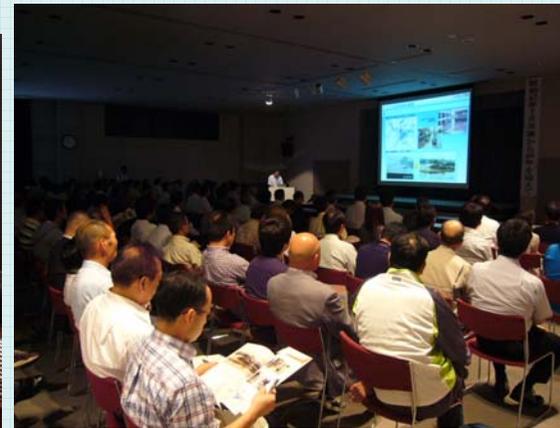
- 今年、昭和47年7月豪雨災害から40年という節目の年にあたることから、「昭和47年7月災害から40年を迎えて」と題したシンポジウムを開催し、県北3市のみならず広島市・福山市などから200名を超える方々が聴講されました。
- 広島大学大学院の河原教授からは、近年の豪雨災害の特徴や減災に向けたハード・ソフト両面からの対応の必要性について講演がなされました。
- 江の川の河川整備や当時の体験談などを通じて、この地域における今後の災害対応のあり方を考えていただく良い機会となりました。



河原教授(広島大学)による基調講演
(近年の豪雨災害と今後の減災対策)



47災害以降の河川整備について報告する松浦所長



昭和47年7月災害から40年を迎えて

主催：三次市・庄原市・安芸高田市
広島県・国土交通省

開催趣旨

江の川流域では、昭和47年7月豪雨により死者・行方不明者28名、全半壊家屋約4,000棟、浸水家屋約14,000棟、また三次市で堤防が2カ所決壊するなど甚大な被害を受けました。
この47災害から今年で40年を迎えることから、47災害を振り返るとともに、今後の災害対応のあり方について考える。

日時：平成24年6月17日(日) 9:30~12:00

会場：みよしまちづくりセンター 1階 ベベラホール
三次市十日市西六丁目10番45号 TEL.0824-64-0091

【プログラム】

- 講演：「近年の豪雨災害と今後の減災対策」
講演者 河原 能久(広島大学 大学院 教授)
- 江の川の河川整備について(47災害を受けて)
松浦 勇治(中国地方整備局 三次河川国道事務所長)
- 広島県の治水・防災事業について
財団 敏行(広島県 北部建設事務所長)
- 47災害を振り返り、今後の災害対策のあり方を考える！
畠田 治通(元 建設省 三次工事事務所)
西田 正博(三次市消防団長)
元廣 修(三次市 総務部長)

【同時開催】昭和47年7月豪雨災害パネル展



開会挨拶(三次市長)

当時、建設省三次工事事務所の職員だった鷺田氏による
経験談の報告



西田消防団長による
経験談の報告

47災害パネルに見入る来場者



閉会挨拶(安芸高田市市長)

